

こんにちは

たかじょう訓子です！

大軍拡・増税に反対！くらし・福祉優先の区政を！



私は、これまで、ひとり親で2人の子どもを育ててきた経験から、「一人ひとりが人権が守られる社会にしたい、貧困と格差を無くしたい、当事者目線での制度を作りたい」という想いで頑張ってきました。

コロナや押し寄せる物価高騰などで、住民の暮らし事業者の経営状況がますます困難になる中、国はまともな景気対策を打たないばかりか大軍拡とそのためのも増税の方針を示しました。

日本共産党は、大軍拡・増税に反対します。戦争の準備をするよりも、赤ちゃんからお年寄りまで必要な社会保障こそ充実させるべきです。

日本共産党世田谷区議団は、保坂区政の与党として、議会論戦や区長への申し入れなどを通し、積極的PCR検査などのコロナ対策、認可保育園整備を中心とした保育の質を確保しながらの保育待機児解消対策、区の実施計画に盛り込ませた「低所得者への配慮」の文言を根拠に生活困窮者への支援を求めるなど、高齢者施設の増設への国の悪政から区民の命暮らしを守るため力を尽くしてきました。今後も区民の命・くらしが最優先の区政を進めるために力を尽くします。

日本共産党世田谷区議会議員 たかじょう 訓子

1、コロナから区民の命を守る取り組み

・PCR検査拡充のための財源確保に国会議員団と連携し無料のPCR検査を実現。医療機関支援や保健所体制の強化など議会や区長申し入れなどを通し繰り返し求めてきました。オンライン診療の導入、インフルエンザとの同時検査可能窓口設置などにつながりました。

2、子どもの貧困対策が前進へ

・世田谷区に「貧困」はあるのか?こんな声が議会の中にある中、ひとり親世帯の切実な声を議会に届け、子どもの生活実態調査、子どもの貧困対策計画が実現。

・経済的に困難な家庭に学用品費、給食費、入学準備への補助を行う就学援助の拡充により区内でもトップクラスの手厚い制度に。18歳までの医療費無料化が来年度より実現。食の支援、学習支援、ひとり親世帯への家賃補助、生活困窮・養育困難家庭の中学生への総合的な支援拠点の設置・増設など実現しました。

3、特養ホームの増設・介護職の処遇改善の取り組み

・現在待機者 1300人。1000人分の増設を求め、1000人の整備目標が計画に。令和5年までに759人分の整備すすめる予定。

・介護職の処遇改善のために、区独自の支援を求め、地域密着型サービス事業所への家賃助成が実現。

・高齢者、中等度難聴者への補聴器購入費助成制度の導入、継続的な調整もセットで進めよと論戦。

4、区内事業者へのゼロ金利融資・せたがやPayを活用した個店支援を実現

今後も皆さんと共に頑張ります！

- ・区立保育園・幼稚園の統廃合に反対！一人ひとりが大切にされる保育の実現を！
- ・国の介護制度の見直しによるサービスの後退、利用者負担増から区民を守る取り組み
- ・住み慣れた地域で住み続けられるよう、介護施設の充実と担い手となる介護職の処遇改善を！
- ・高齢者、中等度難聴者への補聴器購入費助成の早期実施を
- ・障害者グループホームの増設を！
- ・千歳台交差点のバリアフリー化を！
- ・北烏山地区に30人規模の集会施設を！